

かながわLTC ネットワーク（横須賀版）

～横須賀市内介護保険施設現場職員同士のネットワークを作り、
認知症ケアの悩みを一緒に乗り越えよう～

研修担当：緒方 弘美（衣笠ホーム）

樋口 洋一（シャローム）

岩崎 剛（横須賀老人ホーム）

鈴木 健之（横須賀老人ホーム）

事務担当：横須賀老人ホーム

嘉山 武志

宮崎 和久

責任者

横須賀老人ホーム 所長 佐野 芳彦

（神奈川県認知症介護指導者連絡会 会長）

I はじめに

近年、在宅地域においては、誰でも参加して認知症に関心のある人や専門職など誰でも参加して認知症の理解を深めることを目的とした認知症カフェ（オレンジカフェ）や認知症を語り、交流を深める活動（オレンジパル）が各地で行われている。

しかし介護施設の現状を見ると他事業所の従事者同士の関りが少ない状況が否定できず、結果として認知症ケアの悩みの解決策が見いだせない現状があるのではないかと危惧しています。

そのような背景から、①認知症の人や介護職員の願いが叶えられる介護の実践を可能にする知識と技術を獲得する研修会の開催や、②施設職員の悩みを語り合う場を作る、などの適切な活動を通して、現状の施設の課題解決の一助となるために神奈川県より委嘱を受けた認知症介護指導者で構成されている「神奈川県認知症介護指導者連絡会」が中心となり「かながわLTC ネットワーク（設立代表：松浦美知代）」を立ち上げ、横須賀地区福祉施設連絡会のご理解・ご協力のもと、定期的に活動を行い、地域でのネットワークづくりを行っていくことになりました。LTCとはロング・ターム・ケアの略で、ロング・ターム・ケアとは、長期ケア施設（特養・老健・療養型・グループホーム等）でのケアを指します。

かながわLTC ネットワークの活動は神奈川県内に広がっていきますが、まずは横須賀地区福祉施設連絡会と連携を図りながら、横須賀地区が先駆けて取り組むことになりました。

II 目的

- ① 認知症ケアをはじめとする、ご利用者のケア全般にわたる課題を取り上げ、参加者が自施設のケアのあり方を考えていく機会とする。
- ② 参加者のリフレクションを促し、自事業所及び自身のケアの質の向上を図る。
- ③ 課題となっている事項の共有や課題解決に向けたアクションのきっかけづくり

Ⅲ 参加者

介護職員・相談員・栄養士・看護師などを対象（経験は問わない）

※中堅職員程度を想定

オブザーバーとして数名の施設長にもご参加いただきたい

Ⅳ 開催頻度・方法

2～3 か月に一度

会場は施設の持ち回りを想定（可能であれば施設見学もお願いしたい）

開催時間は 2 時間程度（17:00～19:00 を想定）

Ⅴ 開催内容

現場職員の悩みや課題の共有、課題解決に向けた研修会の実施、職員研修の内容、時期を考慮し、懇親会の開催など

Ⅵ 会のグランドルールの設定

参加者が安心して話ができる、語ることができるようにするためにもグランドルールの設定は必要と考えます。

想定されるグランドールとして…

- ① 会で話したことは口外しない
- ② 他施設の良いところは積極的に自事業所でも取り入れる
- ③ 多様な意見、違う視点を素直に受け入れる
- ④ 職員のスカウトはしない

Ⅶ 事務局の設置

活動を推進していくために、事務局を設置し、事務局から各施設との連絡を行う。

事務局は当面の間、横須賀老人ホームに設置する。

Ⅷ 報告および承認

参加者は出席後、自事業所の施設長へ内容の報告をする。また、事務局は必ず施設長会へ報告を行う。

また、活動にあたり、承認事項がある場合には事務局が施設長会へ申し出て、施設長会の承認を受けることとする。

